

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名 称	会計	コード	名 称
155		住民自治協議会推進経費	01		一般会計
			02		総務費
62		豊かさを実現するための地域に合った施策を住民自らが選択する	01		総務管理費
			14		自治振興費
			102		住民自治協議会推進経費
			02		住民自治協議会推進経費
担当部課名	生活環境部市民生活課		細目		
作成者氏名	坂口 孝一	連絡先	0595-22-9639	細々目	

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	新しい住民自治のしくみとして、地域のことは、その地域の住民が最も良く理解していることから、地域の良さや資源の価値を見出し、これを活かす施策を住民自らが策定し、住民自治がより活性化するように地域住民による組織を設置する。	住民自治の支援する区域として、伊賀市住民自治区域検討委員会で市全域を38地区に設定し、これにより地域住民による住民自治協議会の設置および地域まちづくり計画の策定を行い、その計画を基本に実行していただくことができる。			
本年度事業内容	対象者：市民(地域の実情を勘案して、様々な支援をしていく単位としての住民自治の区域を設定し、区域に住所を有するものであれば個人、団体、企業等を問わず誰でも参加できる。 住民自治組織の設置・運営や地域まちづくり計画の策定などに関し助言や情報提供・財政支援など行う。				
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	伊賀市自治基本条例

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.6	0.6	
人件費合計(A)	4,320	4,320	0
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	38,569	45,876	0
委託料			
設立交付金	16,829	21,000	
地域交付金	21,691	24,834	
その他	49	42	
合計(A+B)	42,889	50,196	0
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国庫支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	42,889	50,196	0
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
対象区域設立数	21	20					
地域まちづくり計画策定	21	19	1				
交付金支出協議数	21	20					
様々な支援をしていく単位としての住民自治の区域の設定	38	38	0	0			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
区域単位で住民自治協議会の設置	住民自治を伊賀市のまちづくりの基本に据えており、小学校区を基本に地域の実情を勘案して21区域を設定	21	20 目標 (95)		
住民自治協議会による地域まちづくり計画の策定		21	19 目標 (90)	1	

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

現在、住民自治協議会に財政支援として、交付金を支出しているが、中身としては補助金となっている。まちづくり計画に沿って事業が行われることで支出をしているのであれば、長いスパンで見なければいけない。財政支援も現状にあった支出を検討する必要があると思われる。また、設立交付金について17年・18年の2か年となっており、今後交付金の再構築を考えていかなければならない。
--

評価	必要性	4	今日、住民が主役となったまちづくりや個性あふれる豊かな地域づくりが求められ、新しい住民自治のしくみとして、伊賀市自治基本条例の基本理念にもある補完性の原則に基づき、地域を取り巻く様々な課題に住民が積極的に取り組んでいける、地域自治・住民自治の仕組として住民自治協議会を立ち上げ、その果たすべき役割として、地域課題の解決を図るための計画である「地域まちづくり計画」を策定し、住民自ら自治を行うものです。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		